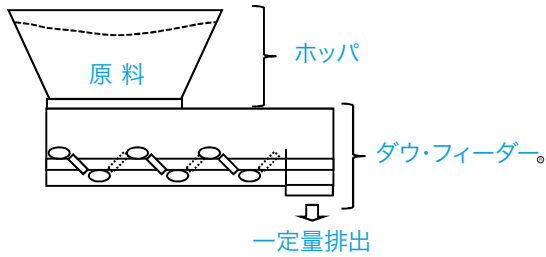


変更前の機構/構造説明	変更後の機構/構造説明
<p>製鉄所にて発生する高炉ダストおよび転炉ダストの定量切出しをしたい。</p>  <p>写真1 製鉄所で発生するダスト</p>	<p>新日南製ダウ・フィーダー。(2軸不等速)を導入することにより、連続運転での切出しが可能となる。また、セルフクリーニング機構により固着の低減が可能となる。</p>   <p>写真2 定量切出し実験</p>

(1) 装置・機器の概要説明

ダウ・フィーダー。
(2軸不等速×2系統)

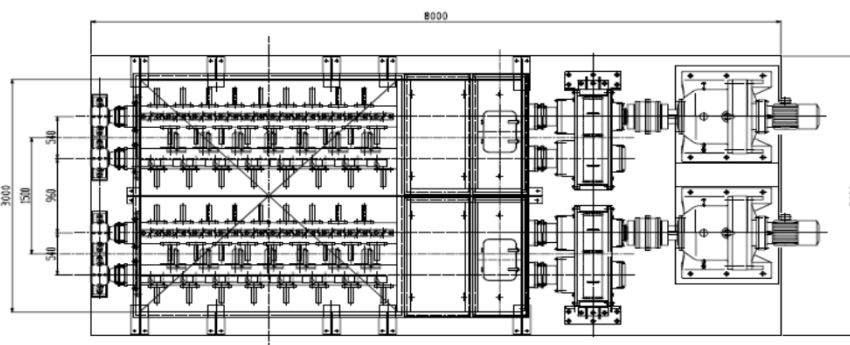


図1.ダウ・フィーダー。実機(外形図)

(2) 変更前の問題点

従来の多軸スクリー切出し機では、スクリーの回転が等速の場合が多く実稼働経過にともない、固着等の問題が発生する傾向にある。(固着により切出し不可能になる。)

(3) 変更後の利点

新日南製ダウ・フィーダーでは、スクリーが不等速かつ、セルフクリーニング機構を有するため固着の低減が可能であり、効率的な定量供給が可能となる。とくに湿ダストに有効である。